

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第19期 決算日 2018年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日(原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)」は、2018年3月13日に第19期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
15期(2016年3月14日)	11,060	10	9.3	98.1	—	2,306
16期(2016年9月13日)	11,668	10	5.6	97.8	—	2,501
17期(2017年3月13日)	14,978	10	28.5	97.6	—	3,705
18期(2017年9月13日)	15,358	10	2.6	97.9	—	4,855
19期(2018年3月13日)	14,950	10	△2.6	97.9	—	3,880

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期首)	円	%			%
2017年9月13日	15,358	—			97.9
9月末	15,536	1.2			97.5
10月末	15,125	△1.5			97.0
11月末	15,199	△1.0			96.3
12月末	15,175	△1.2			100.0
2018年1月末	15,409	0.3			99.6
2月末	15,020	△2.2			98.9
(期末)					
2018年3月13日	14,960	△2.6			97.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

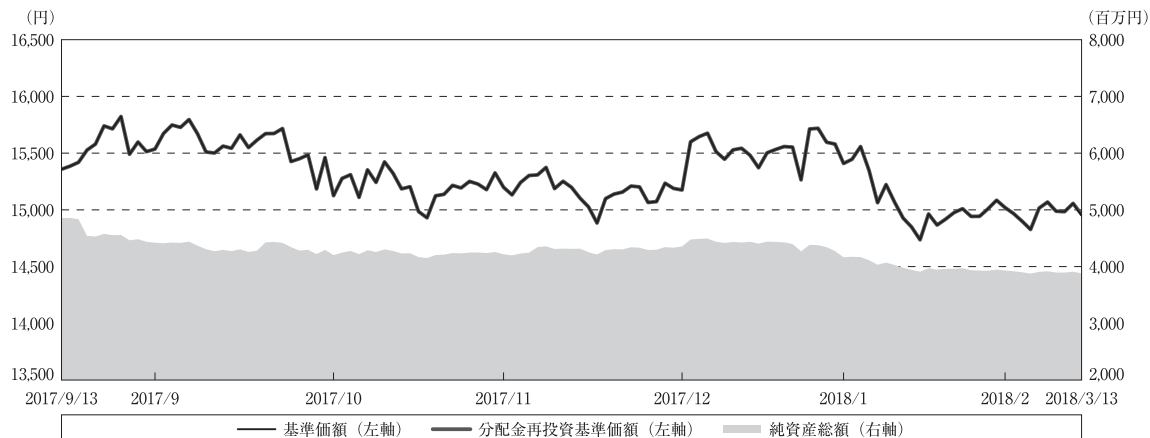
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年9月14日～2018年3月13日)



期首：15,358円

期末：14,950円（既払分配金(税込み)：10円）

騰落率：△ 2.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

期末(2018年3月13日)のLM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)(以下、当ファンド)の基準価額は14,950円(分配金控除後)となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス2.6%(分配金再投資ベース)、基準価額は398円(分配金込み)下落しました。

ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。一方、為替損益については、ブラジルリアル・円相場がリアル安・円高となったことからマイナス寄与となりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行(BCB)が2017年10月の金融政策委員会(COPOM)において利下げ幅の縮小を決定し、今回の緩和サイクルの終わりが近いとの見方が広がったことから、利回りは上昇（価格は下落）しました。また、財政改革の柱となる年金改革法案の審議が難航するとの懸念が強まったことも、利回りの上昇につながりました。

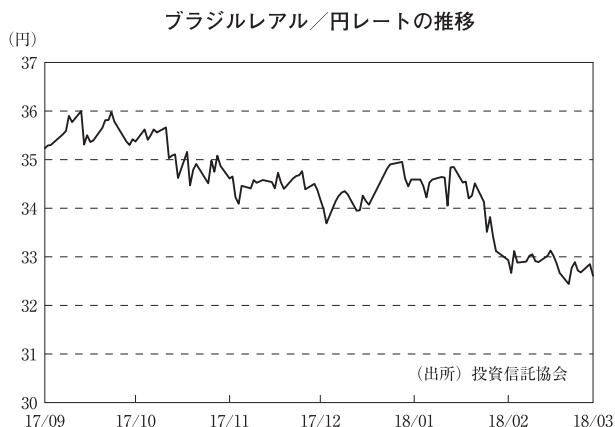
期の半ばは、年金改革法案の年内採決への期待感などから、利回りは低下しました。また、BCBが四半期インフレ報告で2018年のインフレ見通しを下方修正したことも、利回りの低下要因となりました。しかし、その後、年金改革法案の採決が2018年2月に先送りされたことや、ブラジルの格下げ懸念などから、利回りはやや上昇しました。

期の後半は、米国の利上げペースが速まるとの観測を受け米国国債利回りが上昇した影響から、ブラジルの債券利回りにも上昇圧力が強まりました。しかし、その後、インフレ率が低水準で推移する中、BCBによる追加利下げ観測が強まったことや、米国株価の回復を背景に投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、ブラジルの国内景気の底堅さが意識されたことや、テメル大統領の起訴に絡む政情不安がやや緩んだことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。しかしその後、地政学リスクの高まりから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、年金改革法案の行方に対する不透明感などから、リアル売り・円買いが強まりました。

期の半ばは、年金改革法案の採決への期待感から、リアル買い・円売りが優勢で推移したものの、結局は2017年内採決が2018年2月へ先送りされ、ブラジルの格下げ懸念が強まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。



その後は、S&Pがブラジル国債の格下げを発表したものの、資源価格の上昇などが好感され、リアル買い・円売りが優勢となりました。

期の後半は、米国の利上げペースが速まるとの観測を受け米株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、BCBによる追加利下げ観測が根強いことも、リアルの上値を抑えました。その後は、リアルは対円で下げ渋る展開となりました。ブラジル政府が年金改革法案の採決を先送りしたものの、既に市場が織り込んでいたことから影響は限定的でした。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年9月14日～2018年3月13日)

当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2017年9月14日～ 2018年3月13日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.067%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,446

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年9月14日～2018年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 127	% 0.830	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(61)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	13	0.082	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.065)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(2)	(0.010)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	140	0.912	
期中の平均基準価額は、15,244円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年9月14日～2018年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 397,956	千円 722,291	千口 900,528	千円 1,638,468

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年9月14日～2018年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2017年9月14日～2018年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年9月14日～2018年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年3月13日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		2,709,631	2,207,059	3,919,076

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年3月13日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 3,919,076	% 99.9
コール・ローン等、その他	4,326	0.1
投資信託財産総額	3,923,402	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(59,806,136千円)の投資信託財産総額(60,101,677千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=106.37円、1ブラジルレアル=32.61円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,923,402,052
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	3,919,076,092
未収入金	4,325,960
(B) 負債	43,074,391
未払収益分配金	2,595,550
未払解約金	4,325,960
未払信託報酬	35,452,809
その他未払費用	700,072
(C) 純資産総額(A-B)	3,880,327,661
元本	2,595,550,484
次期繰越損益金	1,284,777,177
(D) 受益権総口数	2,595,550,484口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,950円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

3,161,328,055円

期中追加設定元本額

469,864,487円

期中一部解約元本額

1,035,642,058円

○損益の状況 (2017年9月14日～2018年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 67,469,197
売買益	18,571,146
売買損	△ 86,040,343
(B) 信託報酬等	△ 36,152,881
(C) 当期損益金(A+B)	△ 103,622,078
(D) 前期繰越損益金	408,227,904
(E) 追加信託差損益金	982,766,901
(配当等相当額)	(2,152,206,320)
(売買損益相当額)	(△1,169,439,419)
(F) 計(C+D+E)	1,287,372,727
(G) 収益分配金	△ 2,595,550
次期繰越損益金(F+G)	1,284,777,177
追加信託差損益金	982,766,901
(配当等相当額)	(2,155,061,311)
(売買損益相当額)	(△1,172,294,410)
分配準備積立金	556,370,263
繰越損益金	△ 254,359,987

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配当等収益(費用控除後)	145,609,322円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	2,155,061,311
(D) 分配準備積立金	413,356,491
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,714,027,124
(1万口当たり収益分配対象額)	(10,456)
収益分配金	2,595,550
(1万口当たり収益分配金)	(10)

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第10期 決算日 2018年3月13日

(計算期間：2017年3月14日～2018年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第10期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰	落			
6期(2014年3月13日)	円 14,433		% △10.2	% 96.7	% —	百万円 162,125
7期(2015年3月13日)	13,883		△ 3.8	96.6	—	88,496
8期(2016年3月14日)	12,677		△ 8.7	97.2	—	59,834
9期(2017年3月13日)	17,469		37.8	96.9	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757		1.6	96.9	—	60,032

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰	落			
(期 首) 2017年3月13日	円 17,469		% —	% 96.9	% —	% —
3月末	17,146		△1.8	97.2	—	—
4月末	16,886		△3.3	96.2	—	—
5月末	16,498		△5.6	95.7	—	—
6月末	16,649		△4.7	95.1	—	—
7月末	17,776		1.8	99.2	—	—
8月末	17,789		1.8	98.0	—	—
9月末	18,296		4.7	97.4	—	—
10月末	17,839		2.1	96.7	—	—
11月末	17,952		2.8	95.9	—	—
12月末	17,948		2.7	99.5	—	—
2018年1月末	18,251		4.5	98.9	—	—
2月末	17,817		2.0	98.0	—	—
(期 末) 2018年3月13日	17,757		1.6	96.9	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年3月14日～2018年3月13日)



○基準価額の主な変動要因

当期末（2018年3月13日）のLM・ブラジル国債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は17,757円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス1.6%、基準価額は288円上昇しました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。一方、為替損益については、ブラジルリアル・円相場がリアル安・円高となったことからマイナス寄与となりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、利回りは概ね横ばいで推移していましたが、テメル大統領が汚職事件の隠蔽工作に関わったとする報道を受け、政局の不透明感が強まるとともに財政改革への懸念が生じたことから、利回りは一時急上昇（価格は下落）しました。その後は、市場が落ち着きを取り戻し、改革の一端を担う労働法改正案が可決される見通しが高まったことなどから、利回りは低下しました。

期の半ばは、ブラジル中央銀行（BCB）による積極的な利下げや、国内の政局不安がやや後退したことなどから、利回りは低下基調が継続しました。その後、BCBが2017年10月の金融政策委員会（COPOM）において利下げ幅を縮小し、今回の緩和サイクルの終わりが近いとの見方が広がったことから、利回りに上昇圧力がかかりました。また、財政改革の柱となる年金改革法案の審議が難航するとの懸念が強まったことも、利回りの上昇につながりました。

期の後半は、年金改革法案の行方は不透明な状況が続いたものの、BCBが2018年のインフレ見通しを下方修正したことなどから、利回りは緩やかな低下基調となりました。その後、米国の利上げペースが速まるとの観測が強まったことから米国債利回りが上昇し、ブラジルの債券利回りにも上昇圧力がかかる場面がありましたが、BCBによる追加利下げ観測が強まったことなどから、利回りは再び低下傾向となりました。

当期のブラジルリアル・円相場は、ブラジルリアル安・円高となりました。

期の前半は、政局の混乱などを背景にリアル売り・円買いが優勢で始まりました。その後、年金改革法案の成立へ向け進展が見られたことなどを好感し、リアル買い・円売りが優勢となりましたが、テメル大統領の汚職疑惑に関する報道を受け、リアル売り圧力が急速に強まる場面が見られました。その後、市場が落ち着きを取り戻し、欧米の債券利回りの上昇を受け市場全体で円安となった影響な

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



どから、リアルは対円で強含みとなりました。

期の半ばは、北朝鮮情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時、為替市場全体で円買いが優勢となる中、リアルも対円で下落しました。しかし、その後、ブラジル政府によるインフラ運営権売却および民営化計画の発表や、景気の底堅さなどを好感し、リアルは対円で強含みとなりました。その後は、地政学リスクや年金改革法案の行方に対する不透明感などから、リアル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、年金改革法案の行方に左右され、方向感の定まらない展開となりました。その後、米国の利上げペースが速まるとの観測を受け米株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、急速にリアル売り・円買いが進みました。また、BCBによる追加利下げ観測が強いことなども、リアルの上値を抑える要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年3月14日～2018年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 25 (25)	% 0.142 (0.142)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	25	0.142	
期中の平均基準価額は、17,570円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月14日～2018年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 614,138	千ブラジルリアル 698,804 (12,910)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月14日～2018年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年3月13日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 1,712,480	千ブラジルレアル 1,783,499	千円 58,159,907	% 96.9	% 96.9	% —	% 84.6	% 12.3
合 計	1,712,480	1,783,499	58,159,907	96.9	96.9	—	84.6	12.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 権 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	219,950	225,733	7,361,176	2019/1/1	
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	1,213,230	1,267,668	41,338,665	2021/1/1	
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	279,300	290,097	9,460,065	2023/1/1	
合 計					58,159,907		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 58,159,907	% 96.8
コール・ローン等、その他	1,941,770	3.2
投資信託財産総額	60,101,677	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(59,806,136千円)の投資信託財産総額(60,101,677千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=106.37円、1ブラジルレアル=32.61円です。

○特定資産の価格等の調査

(2017年3月14日～2018年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	60,676,021,195
コール・ローン等	307,626,713
公社債(評価額)	58,159,907,050
未収入金	1,152,547,000
未収利息	1,055,940,432
(B) 負債	643,916,169
未払金	574,344,000
未払解約金	69,571,328
未払利息	841
(C) 純資産総額(A-B)	60,032,105,026
元本	33,807,073,092
次期繰越損益金	26,225,031,934
(D) 受益権総口数	33,807,073,092口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,757円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額	38,894,581,825円
期中追加設定元本額	9,022,423,529円
期中一部解約元本額	14,109,932,262円

(注2) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	29,674,893,981円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	2,207,059,803円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,924,325,498円
LM・ブラジル国債ファンド(適格機関投資家専用)	793,810円

○損益の状況 (2017年3月14日～2018年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,838,559,283
受取利息	5,838,993,552
支払利息	△ 434,269
(B) 有価証券売買損益	△ 4,265,226,348
売買益	2,470,886,178
売買損	△ 6,736,112,526
(C) 保管費用等	△ 93,749,536
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,479,583,399
(E) 前期繰越損益金	29,050,845,791
(F) 追加信託差損益金	6,565,248,030
(G) 解約差損益金	△10,870,645,286
(H) 計(D+E+F+G)	26,225,031,934
次期繰越損益金(H)	26,225,031,934

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。